

## 通教月報

## 診療情報管理研究

令和5(2023)年1月号

編集  
発行人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 教育部教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <https://jha-c.jp/>

受付時間 平日 10:00~17:00

発行日 毎月1日

## 年頭所感



## 新春のご挨拶

武田 隆久

日病・診療情報管理士教育委員会 委員長  
武田病院グループ 理事長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては本年も益々ご健康でご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。卯年の本年は、「うさぎの登り坂」のことわざのように、今居る職場にて飛躍の年となりますよう応援しています。

年のはじめにあたり、私たちが取り組んでいる「情報」とその価値についてあらためて一緒に考えたいと思います。

人間は情報が無いと行動が盲目的に偏り、情報が過多になると行動にためらいが生じます。情報は思考の段階から実行に至るまで人間の行動に深く関わっています。情報は利用されてはじめて価値を生みだします。まさに情報管理およびその処理は非常に重要であることがわかります。そしてこの能力は、持てる知識と情報量に依るところが大きく、その土台となるものはその人の知恵、すなわち物事の道筋や道理を理解し、適切に処理する能力にあると考えられます。

一方、現在はあふれかえる情報の洪水の中で、いったい何に本当の価値があり、何に価値がないのか判然としないまま、良い情報、うわさや風評のような無責任な情報、ウソやデマといった悪質な情報など有害な情報が併存しています。この状況は情報の質的な貧困であるといっても過言ではありません。したがって、日常生活における自分自身の情報処理を取り巻く環境は、より一層複雑になり、不確実性が高まっています。

さて、医療の分野に目を向けたいと思います。病院管理学の創始者である Dr.MacEachern (1881-1956) は、診療録の6つの価値について提唱しています。

- ① 患者における価値 (患者自身が疾病の状態や治療内容を理解する記録としての価値)
- ② 病院における価値 (医療機関において適正な医療を安定的に提供するため、運営状況を把握し活用する記録としての価値)
- ③ 医師における価値 (医師自身および医療提供者の医療行為を検証し、分析することにより治療成績を知る記録としての価値)
- ④ 法的防御の価値 (訴訟の場では唯一の客観的証拠となる記録としての価値)
- ⑤ 公衆衛生上の価値 (行政上の調査など公衆衛生の向上などの行政目的に活用される記録としての価値)
- ⑥ 医学研究への価値 (統計学的に抽出し、診療結果や有効性について評価・分析を行うことができる記録としての価値)

日本では保険診療を行うための医療保険上の価値がこれらに加えられています。

このように、診療録を含む診療情報について管理・分析することは、病院などでの診療の実態や診療報酬上の実績を明らかにし、医療の質評価や医療経営および施設の運営管理に寄与する極めて重要な業務であります。

今、私たちが忙しい日々の中で研さんし、目指している専門職「診療情報管理士」が活躍することは、すなわち価値ある診療情報あるいは良い情報となるように取り組むことで今後の質の高い医療に資する医療への大きな貢献であると信じて已みません。新たなこの一年、皆様のさらなるご健闘を期待しています。

